

76.3.N225
発行所 市岡町
責任者 市岡町
0883-88529

時が駆け足で過ぎ去る感じがします。暖冬、暖冬と言っていることも、なかなか春は近おいて来ないなあと感じていることも、どう三月ですよ。

三月といえは、何をか言えますか。子供たちがいける皆さんにとつては、「卒業」です。スポーツ好きの人にとつては、「シーズンはじまり」です。サッカーもラグビーもはじまり、新聞のスポーツ風がにぎやかになつてきました。

とつて、高校生にとつては、バレー、バスケット等々の斗いがあり、高校野球も羊ばにははじまりです。

高校野球は、徳島県代表は、出場出来ませんので、少々熱の上りがはいのかやあ。

それでは、まことに身になるチームがあります。京都から出場のチームのピッチャーに「市岡」がいます。

活躍してほしいなあとおもつてはいまさらかとつて、三月といえは、十年前の三月五日に飯想村の「活紗」祖谷村が独立したのが

この三月なのですよ。あの時、希望に燃え、独立を宣言し、あつちこつちからおさが

三月といえは



我が家の福寿草
ニツトコ→

ばかり、村民が、日に日にと増えていくので、
「団舎」というブランドを大切にし
祖谷といつづつ下
不便というブランドと
つきあひ
誇りをもち、目の力、
堅く、面白く村の生活
をこころよく、をかわけ
て、熱気の申独立宣言



山雀の後

二月号でヤマガウについて書きましから、今迄のYさんからの便りの中に「今集りのヤマガウをなわいがかつたら、その人が留守の時だ、そのヤマガウを捕獲に来た人がい、さうべついな、なつ」という事がありました。

考えさせられました。ヤマガウには、何の誇りもないのに……人の勝手……

スタートを切らう。もう十年、早くも十年目です。

今、こうして、宣言文の一部を書き、い、少々、はぶかしくなつてしまします。

というのも、この「活紗」祖谷村といつ組織で活動、行動していることは、果して、あつたらうかと……。

それだけ、個々では、あつちこつちの村民の活躍はあつても、やはりそれは個人の人だけでははいらうか。

この間、村長とこの私のリーダーシップのあり様が向われているのかと知れませんが、あの時、各自が脚跡を出し、皆んながやうつと立ちあがる。そこをこつて、皆んなの胸には残さなかつたのびうかともおもいます。

どうしますか、活紗祖谷村。